



人工林に適切な手入れを行うことで、広葉樹の侵入や下層植生の繁茂が見られる豊かな森林を形成。（愛知県設楽郡設楽町）

写真1．人工林の手入れ（愛知県設楽郡設楽町）



地域固有の生物相や生態系を保護するためには、外来種の樹木を駆除することも必要。（小笠原諸島・母島）

写真2．外来種の樹木の駆除（小笠原諸島・母島）



写真3. ラムサール条約湿地「蕪栗沼・周辺水田」地域



写真4. 消費者の部屋特別展示「有機農業の目指す世界」



写真5. コウノトリの野生復帰の推進に向けた農地整備
水田に設置された魚道（写真提供：兵庫県但馬県民局地域振興部豊岡土地改良事務所）



写真6. モンキードッグ



写真7. 磯焼け対策漁業者向け講習会



写真8. ウニによる食害対策の取組



写真9. ホンダワラ類の母藻の投入



写真10. 逆さ竹林タイプの保護礁設置

自然環境や生態系に配慮した整備の推進

<伊勢湾西南海岸>



砂浜を再生
(生態系に配慮し近隣の砂を使用)



アカウミガメの上陸

<竹原港海岸>



生物の生息環境に配慮した
海辺づくりを実施



稀少生物(カブトガニ等)の
生活環境を確保・拡大

写真12、13. 遺伝資源探索の様子

全国各地から希少な在来種等を収集している



写真14、15. 遺伝資源の評価

いもち病の被害イネ（上）感染源である菌の分生孢子（下）



写真16. 種子保存庫

常に-1℃、湿度30%に保たれている

